

MU・関西 ニュース

第110号 2006.05.12-
『管理職ユニオン・関西』ニュース
発行MU・関西ニュース編集委員会
URL: www.mu-kansai.or.jp
E-mail: sodan@mu-kansai.or.jp
URL: www.mu-keiji.gr.jp
E-mail: sodan@mu-keiji.gr.jp

〒530-0044 大阪市北区東天満2丁目2番5号 第二新興ビル605号 TEL(06)6881-0781FAX(06)6881-0782
〒600-8148 京滋支部 京都市下京区七条東洞院西北角 ORKビル5F TEL/FAX(075)353-4334

5・20「労働運動再生の地鳴りがきこえる」出版記念シンポジウムに参加を！

- ・5月20日(土) 開場午後5時30分 開会午後6時
- ・ところ エルおおさか 2階大ホール 天満橋駅下車西へ5分
- ・管理職ユニオン・関西も賛同し、本田委員長が呼びかけ人となっています。
パネルディスカッションの進行司会を仲村副委員長がします。
800人の会場なので、管理職ユニオンからの参加も多数を目標としています。
これからの労働運動の学習もかねて、積極的な参加・協力をお願いします。執行委員会

5月のメーデー元気良くデモ行進！





「世の中捨てたもんじゃないと 思えるかも…」 解決しました。

2005年の末に会社とちょっとした行き違いを機に団体交渉をしました。

今回の要求は、

- 2005年4月より改定された「育児・介護休業法」に係る職場環境の整備
- 賃金1万円のアップ
- 9ヶ月分の未払い残業手当の支払い
- 私の健康に係る労働条件の整備

の4件でした。結果は、

「改定育児・介護休業法」に沿った社内規定が改定され、企業の努力姿勢として「小学校就学前の子」を持つ従業員は、1時間の短縮勤務を請求することができることとなりました。

2006年4月度給与から1万400円の昇給。

残業手当については、請求金額の半額を受け取りました。

全社的に慣例となっていたサービス残業は撤廃され、全社員に毎日1時間分のみなし残業手当が支給されることとなり、それ以降の残業についても残業代が支給されることになりました。毎日の朝礼は8時55分開始から始業時刻の9時開始に変わりました。

通院を理由とした年次有給休暇取得の申し出には、会社は時季変更権を行使しないこととなりました。

病気休職後の復職に際し、会社ともめに揉めて（これは管理職ユニオン・関西に加入するきっかけにもなりました）2005年3月に2万円の減給で復職した私でした。それから9ヶ月間、自分の健康状態にひやひやしながらも休職前よりもぐっと増えた業務をサービス残業でこなしてきました。「こうやって頑張ってるけれど、会社はどう評価をくださるのだろうか？」と悶々としてきた日々に、組合の協力で明るい答えが出せました。ありがとうございます。今回の団体交渉では、社長自らがユニオンの事務所に二度、三度と足を運び、大浜さんに話しを聞きにきたそうです。「労組との団体交渉」という、社長にとっては「うっとうしい」であろう出来事を前向きに受けとめ、終始誠実な姿勢を見せてくれました。ここまで読まれたみなさん、「なんとすばらしい経営者なんだ」と思われるでしょうね。いえいえ、これは私と社長がそれなりにゴタゴタをくぐってきた結果なんです。思い起こせば2004年の年末、復職後の勤務について話しをしたときには「降格減給」だの「契約社員に変更」だの「部署・業務変更」と不利益変更を並べ立てられて、雇用契約その他もろもろ知識ゼロの私がただただ「なんで？」と抗議したのがはじまりでした。大阪府労働委員会のあっせんを介したあたりから会社側も（実は、私も）労働基準法等についてお飾りじゃないんだ、と気づいてきました。会社側は、あっせん委員にコテンパーに意見され、私は私で「22%ダウンが7%ダウンにするいうてんねんから妥協し」とあっせん委員にさとされて、私だけじゃなく会社も泣く泣くだったんでしょね、今思えば、復帰後すぐに団体交渉をして、大浜さんの穏やかな話し振りに惚れたのか（私じゃありませんよ。社長が、です！）管理職ユニオン・関西という労組の存在もすんなり認められました。その後は、お互いの立場でそれぞれに「くっそー！負けてたまるか」とがんばった結果なんです。「こっちはやるべきことはきちりやったけど、あんたはそれでいいんかい？」とプライドも高いけど、真面目なところがよかったんでしょ。お互いに。何が言いたいのか分げがわからない文章になってきました。つまり、必死で仕事して、その結果を組合の協力をもって会社に問うたということです。組合員のみなさんは、それぞれにいま、いろいろ問題を抱えていらっしゃるかと思います。そんな中、「こちらが真面目にがんばれば、応えてくれるところもある」という一例として、みなさんの発奮剤になれば幸いです。



解決しました！ Y・N

私は 2005 年の 11 月に大阪市内にあるアウトソーシング・人材派遣を事業としている会社に正社員として入社しました。会社の就業システムとしては基本的に会社が請負契約や派遣契約をしているユーザー企業に自社社員を出向させて就業するという形態をとっておりました。そこで入社後、某電器メーカーにてシステム管理の仕事をしておりましたが 2006 年の 3/16 をもって終了しました。次の日、会社で今後の仕事を続けるか否かについて営業部長と話す事となり、その中で私が今後も引き続き会社の社員として仕事を続けていく旨を伝えたので次の出向先を探す事となりました。その後、会社側は次の出向先を探していましたが、次の出向先がなかなか見つかりませんでした。理由としては当時、会社は情報処理関係の請負や派遣の事業を昨年 10 月から始めており、まだ実際取引している企業が少ない事やそもそも事業拡大の為に入社していた営業社員が 3 月に突然辞めるといった要因が重なった事が考えられます。

そんな中、その後、2 回ほど会社で営業部長と話す事があり、その中で営業部長からは「会社としてはまだ IT 関係の仕事で取引のある会社が少ないのでなかなか見つからないかも知れないので就職活動も視野に入れて欲しい」と退職勧奨とも受け取れるような発言を受けました。2 回目に至っては同じく営業部長より「4/15 を過ぎても仕事が決まらなと社長が解雇の方向で話を進めるだろう」と話を受けた為、その時は私も「一方的に解雇はできないかと思います。」と言うと「30 日分の賃金を支払えば可能でしょう。」という始末でした。

その時、私は「これは確実に退職勧奨を受けているな」と判断し、最悪の事態に備えて組合や自分で労働基準法やその他、法律等について色々調べていました。私と同じく退職勧奨で相談を受けている方がいらっしゃって「解雇通知を受ける前と解雇通知を受けた後で会社と交渉を行う事は状況が全く変わってくる。」という話を耳にしました。そこで K さんや O さん、大濱さん等に何度か相談にのって頂きました。その中でやはり解雇通知を受けた後では組合員として保護されなくなるので団体交渉ではなく裁判になってしまうという事でした。続けて、状況が変わりそうでないなら早めに団体交渉した方がよいというアドバイスを頂きました。私自身、争い 4/15 を過ぎてしまうと解雇の恐れがあったのでそれまでに期限を切って対応する事となりました。

期限まで懸命に次の出向先を探しましたが、残念ながら決まらなかった為、加入通知書と団体交渉申入書を会社宛に送付しました。その後、団体交渉を受けると会社から回答がありました。それから団体交渉までの期間、私が作成した団体交渉の書類を O さんや大濱さんに読んで頂き色々アドバイスを受けながら作成していきました。そしていよいよ団体交渉の日を迎えました。緊張は特にありませんでしたが、今回は組合の方々に御協力を頂いている事がありましたのでできるだけご迷惑をお掛けしないように自分なりに頑張ろうという意識で望みました。団体交渉は組合事務所にて行いました。団体交渉に出席は合計 6 人で組合側は御協力して頂いた大濱さん、O さん、F さんの 3 人と私を含めた 4 人でした。会社側は専務と営業部長の 2 人でした。

さて交渉が始まり今回の主題は退職勧奨の事実確認とその根拠についてでしたが、話をしてみると会社側は「退職勧奨は行ってない。就職活動を進めたのは選択肢を広げてもらう為等」およそ実際あった話とは大きく違う話を始めてきました。こちらが感情的になれば明らかに言い争うような話でしたが、私自身まだ継続してこの会社で仕事を続けるつもりであった事やあまり会社といたずらに争う気はなかったので会社側が退職勧奨を行っていないと知っている事を認めているのであれば今回の話の目的は達成できたという意識でした。

そこで F さんの取り計らいで退職勧奨を行っていない事や双方不利益になる行為は行わな

い事等、労使双方の合意書を取り交わす事で終了しました。

後日、会社側と合意書を調印する事により今回のお話は解決しました。今は神戸での出向先が決まり勤務しております。会社も今のところは特に何も言ってきません。ただ今後も何かある可能性もありますが、今後も何かあった場合はまずは自分で冷静に対応し、それでうまくいかないようであればまたご相談させて頂ければと考えております。

また今、振り返っても自分一人では最悪の状況もありえたと思います。ひとえに今回、相談や団体交渉に御協力頂いた大濱さん、Oさん、Fさん、Kさん、その他組合の方々のおかげだと思っております。皆様、ほんとにありがとうございました。私も就業時間が遅い事やスクールに通っている事等と以前程お伺いしにくい環境となりましたが、今後も自分のできる範囲で同じ境遇で困っておられる方の助けや組合活動において御協力していきたいと考えております。今後とも宜しくお願い致します。

組合活動は“**やってもらう**”“**やってあげる**”の依存関係ではありません。会社依存から単に組合依存に変わっただけでは解決にはなりません。あなたの“**どうしたいのか**”について、あなたが“**どうするか**”を決め、あなたが“**主体**”とならなければ何も始まりません。私達は、組合員が会社への依存から脱し、自立して生きていくために、本人の主体性に基づいて、組合員が相互協力し問題解決をサポートしています。

あなたの取り組み次第によって、その解決も違ったものになります。より納得できる解決を導くために組合活動や学習会に参加し、様々な問題で闘争している組合員と交流して、自身の問題への取り組み方を考えてみましょう。「**組合員の ことです**」とお電話下さい。参考になる交渉などをお知らせします。

新入組合員学習会

5月27日(土)14時~16時 管理職ユニオン事務所

管理職ユニオン・関西とは、どのような労働組合なのか？ 組合の活用法、リストラ対応策、団体交渉の進め方、事務所での対応などについて学習します。

悩んでここに駆け込んだのはあなただけではない事を知り、実体験を語り合うことによってストレスを発散し、会社社会とは全く違う集まりを実感します。そして、それぞれが抱える問題を考え、どのように解決していくのか、アドバイスを受けながら客観的に考える機会でもあります。

新入組合員の方は必ず参加して、より早い解決を目指しましょう。
今まで参加していない組合員の方もぜひ参加してください。



2年3カ月が終わりました。あの桜は見れなかった T

一度毛布に包まっていたのに悪夢が襲ってきました。どうかこれを読んでみなさんモノログとして読んでください。大阪のシール加工会社に17年勤めてきました。2年前のリストラ目的の転職をユニオンに加入することによって回避しましたが、その後も続く会社との攻防。今年の3月にそれにも終止符を打ちました。この記事は自分のそれまでの感情をストレートに思うままに書いてます。法的にどうこうという問題ではなく一人の人間の叫びとして読んでいただければ幸いです。

考課査定

- 1、挨拶、返事、言葉使い
- 2、組織形態に準じた行動
- 3、社内規則、モラル、(行動、服装、規則)
- 4、責任感、理解力、行動力、指導力
- 5、積極性(創意工夫、改善意識、提案力)
- 6、速さ(処理スピード)
- 7、報告、連絡、相談
- 8、整理、整頓、清掃
- 9、正確さ
- 10、協調性

これらが自分に対して会社側が査定をほとんど5段階の1にしてきたものです。

夜中になり再び怒りが.....

1、の挨拶ですが、いったいどれだけの人間がちゃんとしてるのでしょうか？統計はとったのでしょうか？経営者であるあなた、およびその息子は社員に挨拶をしますか？権より改めよとはよく言ったせりふです。あなたがたの言葉使いはわたしより酷いのではないのでしょうか？

2、3、あなたがた経営者にモラルはありますか？今まで放置してきた、粉塵や近隣住民への説明はしてますか？法律を厳守してますか？隠蔽工作してませんか？金の使い道は正しいですか？自分に対してモラルを評価する資格が経営者にありますか？わたしはもうすでに、胸に所見があります。少なくともわたしは貴方よりはモラルはあります。障害のある父子家庭の子供を愚弄し、子供は関係ない、子供の就職をどうしても関西で見つけないなら辞めて見つけてくれとあなたたちは言いましたね。養護学校や、職安、企業をまわり努力されましたか？自分は努力してきました。団体交渉ではそんなことは一言もいってないと嘘をつきましたね。あなたに人間のモラルを評価する資格がありますか？私はあなたを人間失格と評価したい。

4、5、責任感、理解力、行動力、指導力、私は16年この会社で働いてきました。これらがもしひとつでも欠けていたらそれだけの年数は勤まらないでしょう。どこに評価1の根拠があるのでしょうか？それは単に会社という組織に牙をむいた報復でしょう。違いますか？それも牙をむかせたのは社長、あなたが原因ですよ。あなたの無責任な行動、障害者の人権も無視した行い。それでいて反省もせずに関き直ってる。

6、速さ、ですか？今から 10 年前パソコンでプログラムを作ってたのはわたし一人でしたね。家に持って帰ってでもプログラムを作ってたよ。誰もパソコンを触れない時代に利用しておいて、お払い箱ですか？処理スピードはあなたが一番認めていたでしょう。これは交渉の時のテープにも証拠として残ってますよ。それが評価 1 です。よっぽどわたしに腹がたったんでしょう。でもそれ以上にわたしはあなたを許さない。

7、報告、連絡、相談ですか？これも評価 1 です。あなたのまわりはイエスマンのゴマすりばかりですね。どんな報告をしてるんですか？相談？近寄ってゴマすりですか、それとも人の陰口ですか？わたしは 1 度もそのような裏工作はしたことはありません。したくもありません。これで評価されるくらいでしたら人間をやめますよ。社長、あなたはよく恥ずかしくもなく生きておられますね。

8、整理、整頓、清掃、あなたはわたしばかり監視してましたね。これは社員がみな知ってる話です。誰が、どこをどれだけかたずけたのかご存知ですか？数字であらわせないものも評価 1 です。

9、正確さ、これは誰しものがミスします。人間は神様ではありません。仕事内容でもミスしやすいものとミスしにくいものがあります。あなたはミスをしない人ですか？そしてわたしが他の社員に比べて評価が 1 になる理由はどこにあるのですか？具体的にお答えできないでしょう。あなたはわたしが嫌いなだけですから、理由なんていりませんよね。

10 協調性、出ました、天下の協調性です。独裁者はそれが大好きなんです。私のどこに問題がありましたか？あなたの人間性に尊敬を持ってないのに何故あなたとあなたの取り巻きに協調しなければならないのですか？子供の人権も無視する虫けらみたいなあなたがたにわたしは屈したくありません。

当然、名誉の評価 1 です。

これらの査定を金魚のフン社員 3 人にさせて、自分の責任を回避させる賢さ。そして、自分の言ったことを朝令暮改のごとく変えていく独裁者。経営者としての器、それ以前に人間としての尊厳もないこのような男をわたしは許さない。これをもし、あなたが読んだのなら、堂々と受けてたちましよう。

文書のやり取りだけで、20 回くらい、一年半直接交渉も 3 回、行政での斡旋も 1 回。大手の新聞社の取材も 2 週間にわたって受け二日連続の結構大きな記事になりもした。

真実の告発だけをマスコミにし、マスコミも徹底的に裏を取った。もちろん、その記事を会社が読むことは承知していた。「訴えるなら訴えてみる」そんな気持ちだった。でも会社は無視を決め込んだ。

訴えられるわけがないのだ。自分たちのした非人道的行為、それをウソと決め付ける正当性がない。大手マスコミ相手とは喧嘩はしない、そのかわり標的は自分にくる。年下の若い奴を上司にしてくる。

そして自分の査定もその若い奴にさせる。屈辱を味合わせるために。その若い奴は会社の犬になり最低ランクの査定を当然つける。会社に問うとこちらは関係ない！その上司のつけた点数をそのまま賞与の額にしてるととぼける。詭弁もここまでくれば、アホらしい。裏であやつってるのはおまえらだろ！君は精神が病んでるらしいから休業したらどうか？「おお、もう休ませてもらう」ただ、このままでは終わらん、それだけは覚えておけてね。社長にも言いたいことはまだあるが、後にとってあります。

直属の若い上司とはもともと相性が合わなかった。奴は自分の 5 年あとに入ってきた。ゴマすりばかりで上り詰めていったイエスマンの典型です。奴もこちらに気を使って敬語でしゃべっていたが、ある日、タメ口で喧嘩を売ってきた。自分も短気なので「誰に

向かってものゆうとんのや！」「おのれ、言葉に気いつける！」と言うと、急におとなしくなり、そのあと、事の顛末を社長の息子に報告していました。

裏工作が得意の政治家みたいな奴です。そんなこんなで今この状態です。時間はないのです。無駄にできるものはありません。やらなければ、やられる！もう、その時がきたようです。いじめを見ながら沈黙を守る生徒、いじめを見ながら見て見ぬ振りする大人。人が殺されてるのに立ち上がらない人、世間体にかくれてる大人。多くの闘う人々の歴史、血を流した歴史に恩恵を受けてる沈黙の人、命は遅かれ早かれ消え行くもの。それでいいのか！と考えてしまいます。

17年見続けてきた通勤途中のあの桜を見ることはできませんでした。自分の転勤問題から始まったユニオンを通しての闘いは2年3ヵ月でした。最終的には仲村さんに会社と交渉をして頂き、会社都合退職、退職理由もこちらに有利に取り計らってもらい感謝しています。その他多くの方にご協力を頂いたことをここに感謝し、この手記を終わらせたいと思います。ありがとうございました。

あなたの経験、または意見を大募集しています。(組合員・非組合員を問いません)内容は特に限定しませんが、ユニオンの大会方針『明るく！楽しく！元気を上げよう！』『自立・連帯・協働』に基づくあなたの文章をください！

また、組合員の皆さんの仕事や再出発も応援しています。どんどん紙面を活用してください。

例題：解決しました！ 就職しました！(苦労談) 事業を開始しました！
会社にこうして居座っています・ETC 締め切り：毎月月末
できれば、メールもしくはフロッピーを郵送してください。(Faxも可)
連絡は教育宣伝部・大浜まで

活用しよう！勉強しよう！求めています、書籍・感想文

ユニオンでは色々な本を貸し出していますのでご利用ください。必ず貸し出しノートに記入して返却するようお願いいたします。また、良い本などがあればご提供いただけると幸いです。

書籍紹介文や感想文も募集しています。積極的にどしどしお寄せください。

京都/滋賀在住組合員交流会の御案内 京都/滋賀事務所に於いて、しばらく休会となっていました組合員交流会を再開します。何人かの組合員の方から再開要請もあり、相談を含め情報交換や相互応援の機会を創り、交流を深めたいと考えています。万障お繰り合わせの上、多数御出席願います。

日時 2006年6月8日(木) 午後6時30分~8時まで

場所 管理職ユニオン・関西 京都/滋賀事務所

呼びかけ人 本田

第39回 労働運動研究会

みなさん、気軽に参加しましょう！ 待ってますよ！

出来ればテキスト第2章、第3章を読んでおいてください。

どなたでも、いつからでも参加OKです。

・日時 5月23日(火) PM7:00~9:00

・場所 管理職ユニオン・関西 事務所

・チューター ? ・テキスト 的場昭宏「マルクスだったらこう考える」光文社新書
終わったあとは、軽くビールを飲みながら、懇談します。(Y.M)

情報システム委員会からのお知らせ

2006年度 パソコン学習会

パソコンは操作すれば操作するほど、少しずつ上達します。まずは慣れることから始めましょう。初心者の方、大集合です。キーボードが打てなくても大丈夫。お気軽にご参加ください。組合事務所で楽しく勉強しましょう。又、当日お手伝い頂ける方も募集しています。可能な範囲でお互いを助け合いましょう。

パソコン学習会 5月度 ★事務所まで電話で予約をお願いします。お気軽にご参加ください。

2006年5月21日(日) 13時~17時

場所：管理職ユニオン・関西事務所 エクセル編 楽しく活用しよう。

情報システム委員会 スケジュール

5月度は5月10日(水)午後7時からです。6月度は6月07日(水)午後7時からです。

組合旅行にて

k.i

初めて、ガイドさんの案内で、安土城へ上りました。ガイドさんは男性で、50歳代(間違っていたらすみません)の方と、70歳代の方(間違っていたらすみません)と2人いらっしゃいました。私は、70歳代のガイド(以下ガイドさん)の説明を聞きながら、上って行きました。ガイドさんのお話の中で、功名が辻に出てくる人物を出しながら説明をされている部分がありました。当時は、羽柴秀吉と前田利家が安土城の門番であったこと、徳川家康の屋敷が城内にあったこと、など説明を受けました。ガイドさんから聞いてびっくりしたのが、楽市楽座のことでした。楽市楽座は、信長がやり始めた新しい制度と聞いていましたが、佐々木氏の楽市楽座もあるとのことでした。また、天主閣と書くのは、安土城だけだそうです。信長はおのれが天主であると言ったことからであったためと、ガイドさんからの説明でした。

ここで、安土築城の必然性など、私の知っている範囲で書かせて頂きます。政治的距離感と、戦術的距離感から見たときに、信長は、都に異変が起こったときに、3日以内に駆けつけられるという、戦術的距離感を重視した結果が、安土築城では、なかったかと、思われます。当時天下を治めるということは、武力で戦国大名たちを、服従させると共に、皇族をいかにコントロールできるか、という二面性が必要であったと思われまます。そのためには、新しい組織として、徹底した兵農分離を実行して、戦うためだけの、家臣団を形成したことが、有事の際に動かされる軍隊を作ることができたと思われまます。

安土築城がなされた理由は、昔から近江には、東山道(中山道)や浜街道(朝鮮人街道)、北国街道や北国脇往還そして、西近江北街道や東海道、若狭街道などがあり、またその他の脇道として三重にかけての八風街道や千種越えなどもあったからです。このように、安土城は、会合などがある度に、素早い軍隊の移動を行うことができ、軍事的拠点としての天下布武の拠点となった必然性が見て取れます。

信長が、安土築城を総奉行の丹羽長秀に命じたのは、天正4年(1576)1月17日です。その当時の信長の置かれていた状況を、見てみますと元亀元年(1570)には、姉川の合戦で浅井、朝倉連合軍を破り、天正元年(1573)8月に朝倉氏の一乗谷と、浅井氏の小谷城を攻略して、また天正元年4月12年には、甲斐の戦国大名、武田信玄が上洛途中で病に、53歳の生涯を終え、その後天正3年(1575)5月には、武田勝頼率いる武田騎馬軍団を長篠、楽座原の戦いで撃破をしています。武田騎馬軍団を破って半年後に安土築城の命令を出しています。武田、浅井、朝倉が健在である間は、いくら拠点を京に近づけたくても岐阜を動けなかったようですが、東方の脅威がなくなった時点で、西に拠点を移し天下布武の体制を整えようと考えたのでしょう。しかし武田を破ったとはいえ、残党が多く残っており、また何より北国の雄である、上杉謙信がいました。周囲の敵に睨みを利かせつつ、奈良の松永久秀や石山本願寺、伊勢一向一揆集や毛利元就らとの戦闘を有利に進められのが、近江の国であったということです。天主閣は、安土城がわが国で最初の天主閣を有する近世城郭であることで面積約430平方メートルを有する5層7重の豪壮な建築で、屋根には、金箔の瓦を引き、室内には狩野永徳の描いた、金地の障壁画像もある、豪華絢爛のものでありました。

石垣は自然石をそのまま用いて使っておるため、積み方はというと、一つ一つとして、同じ様相の石垣がないようで、多様な積み方を行っています。それと安土城の大手道は、180メートルもの長い直線で造られています。今までは、城は防御のために道を曲げたり細くしたりすることで、敵の侵入を妨げる構造になっているのが通常だったのです。大手道を上り始めると両側に豊臣秀吉、前田利家などの、家臣の住居を配して、支配者の権力を誇示すると同時に兵農分離を明確にしたもので、これこそ近代封建領主社会

の原型をなすものと言われていました。

ところで、安土城炎上の犯人説ですが、ガイドさんは、織田信雄が火を放ったと言われていました。私の知るところでは、明智光秀の娘婿の明智秀満が光秀の敗報を聞き、火を放ったと聞いていました。私は、たくさんの学説をご存知のガイドさんの説が正しいのではと、今は思っています。このツアーに参加された方は、お疲れ様でした。みなさんはガイドさんに説明を聞きながら、安土城に上り何を感じましたか？ 私は信長の時代や安土城が作られた時代を思いながら楽しみました。以上

ふりいたあことはじめ（後）1970年代青春漂流記 O53歳

プチひきこもりの日々

大学を中退してバイトからバイトへ渡り歩き、映画、パチンコ、ボーリング、そしてぶらりと一人旅と、気ままなフリーター生活を楽しんでいたのだが、1975年の秋口からプチひきこもりともいうべき状況に陥ってしまった。直接の原因は1年余りつきあっていた女の子にフラれてしまったこと（フラれるよなあ、そりゃあ）。そこへ、一言では言い表せない様々な要因がいくつもこの時期に重なって もう、何をするのも面倒、ただただ息をしてるだけ というような状態になって、自宅の2階にひきこもってしまったのである。

バイトを捜す気力もない。旅に出かける元気もない。あれほど勤勉に(?)通っていたパチンコ屋からさえも足が遠のく。ただただ毎日、万年床に寝転んで、時の流れに身をまかせているだけ、という状況の日々が続いたのだった。

目が覚めるのが正午過ぎ。枕元のトランジスターラジオを引き寄せスイッチをひねる。ナツメロ、暢気なバラエティ、自分には関係のない天気予報。昼下がりのラジオには、ゆったりした時が流れていた。夜もラジオ。テレビは見ない。この時代、テレビはまだ一家団樂の象徴だった。テレビを見るためには、階下の茶の間へ降りていかねばならない。家族の団樂も拒否して2階にひきこもってしまったぼくとしては、パソコンもないこの時代、ラジオを友とするより仕方なかったのである。

元気にフリーターをやっていた頃は、深夜番組を聴いていても、1時半頃にはスイッチを切って翌日のバイト（またはパチンコ）に差しつかえないように自制していたものだが、そんな歯止めもなくなってしまった。体を動かしていないから、心地よい疲労感が醸し出す眠気というものがやってこないのだ。フーン、ヤンリクの2時過ぎにはこんなコーナーがあったのか、と新しい発見をしたりする。3時から『走れ歌謡曲』。深夜のトラック便やタクシーの運転手を対象にした歌番組だ。やがてまだ暗い中を牛乳配達自転車が通り、ガチャガチャという牛乳瓶の擦れ合う音が聞こえ、それを合図にラジオのスイッチを切り、ようやく浅い眠りにつく。そしてまた、正午頃目が覚めて、前日と同じような一日が始まる、という繰り返しだった。

その頃、外出はほとんどしなかった。唯一の例外は、週に1度、歩いて5分位の駅前の本屋までやっとの思いで出かけ、1週間分の本や雑誌を買い込むことだった。ラジオだけでは1日が長過ぎて時間がつぶせないから、それまであまり読まなかった本を月に10冊位読むようになったのだ。で、その頃どんな本を読んでいたのかといえば、いちばん熱心に読んでいたのが、文春文庫版『竜馬がゆく』全8冊と、角川文庫版『俳句歳時記』全5冊、雑誌は『G O R O』と『週刊ベースボール』というんだから、いったいあの頃われながら何を考えていたのやら...せめてカフカかブルーストでも読んでいたなら

70年代のひきこもりらしくて、少しは格好がつくのだけれど...それはさておき、本を読むという習慣がついたのは、ぼくのひきこもり時代のほとんど唯一の収穫。(あえて、もうひとつ収穫をあげれば、今ひきこもっている人の気持ちが少しはわかることかな) もっとも、本は読んで、整理整頓はトンとしなかったから、部屋は見事に散らかし放題。さすがに、母親の怒りが爆発して「たまにはフトンぐらいあげえや。タタミにカビが生えるがな!」と言われてしぶしぶフトンをあげると、まわりに本や雑誌が散乱しているものだから、そこだけポツカリと長方形の隙間が出現した。まるで、しばらく小雨が降った後、道路に停めてあった車がどこかへ走り去ったアトのように。

ふたたび元気にフリーター

そんなような状況で、期間がわりと短かったから、頭にプチと付けたけれど、中身は相当に深刻だったと言えるだろう。その間ほとんど外出しなかったから、あまりお金を使うこともないのだけれどバイトもしないから、半年ばかりたつと、とうとう文庫本を買う金さえ尽きてしまった。まさかその歳(23歳)で親に小遣いをせびるわけにはいかないし、ラジオだけでは、1日が長過ぎて時間がつぶせないし...というわけで、土中のヒキガエルが啓蟄の声をきいて、モゾモゾと地表へはいだしてきた時のように、そろそろバイトでもしようかという気になったのは翌年の春先だった。求人誌で新幹線の車内販売の仕事をみつけて働き出した。とはいえ、半年ばかりひきこもっていたものだから、最初は相当きつかった。1日乗務すると、ぐったりして、2、3日休まないといけない乗務ができないような状況だった。ようやく、心身ともにひきこもりバージョンからフリーターバージョンに復活して、週に5日位乗れるようになったのは、陽光が初夏のキラメキを感じさせる頃だった。

もっとも、体が慣れてくれば、以前在来線でやっていたのと同じ仕事。要領もわかっているのだから、バイトのなかでもよく売ってくる優秀な販売員だった。けっこう重宝がられて、こだま号のある班の専属のバイトとなり、主に新大阪・東京間を往復、時々博多まで行く、というシフトを繰り返した。販売するものは、弁当、サンドイッチ、アイスクリーム、沿線の土産物。慣れてくると、アイテム数が多くて計算の複雑なコーヒーワゴンも、女性の正社員から「あたし今日、頭のなかの電卓、調子悪いねん。替わってくれる?」と任されて「アイヨ」と気軽に受けて、「コーヒーにサンドイッチ、缶ビールにお酒、おつまみ、新聞に週刊誌、冷凍みかんはいかがですか?」と売り声をあげながら、客席に乗り出すようになった。

学校が夏休みになると、お客も増えてますます多忙。販売だけでなく、ビュッフェで調理の手伝いもした。新入りの学生バイトもドッと増えて、経験的にも年齢的にもバイト仲間のドンとして君臨した。夏の盛りを迎える頃には、半年前のひきこもっていた頃の面影は微塵もなく、元気いっぱいフリーターとして再生したのであった。

正社員として誘われる

秋になって、班の編成替えがあった。ぼくの乗っていたこだま班は他の2つのこだま班と合体してひかり号の班になった。その頃ひかり号には食堂車があって、こだま号の3倍の人員が必要だったのだ。とはいっても、ぼくの仕事は車内販売。変化といえば、停車駅の間隔が長くなったことと、客層が長距離のビジネス客の割合が増えたことぐらいで、仕事の内容が大幅に変わったわけではなかった。新しいメンバーにもすぐに慣れ、食堂長にもかわいがってもらい、そのままひかり班の専属バイトとして乗務していた。

その年も残り少なくなり、街にはクリスマスソングが流れる頃だった。食堂長から「なあ、同じように働いているのに、バイトやからいうてボーナスないのつまらんやろ。正社員になる気があるなら、俺が会社に推薦したるぞ」と言われた。食堂長は30代後半、

仕事や礼儀には厳しいが、部下思いの人情味あふれる人柄だった。正社員に推薦してやろう、というのはそれだけぼくの働きぶりを認めてくれているのだから、ありがたい誘いではあった。たしかに、ボーナスの有無は大きい。それでもぼくはまだ正社員になるうとは思わなかった。その理由は

組織に縛られたくない。企業の歯車の一つにはなりたくない、という妙な矜持があった。

正社員になれば、長期の休みが取れない。閑散期に「旅に出るので3週間の休みを下さい」といっても、バイトなら会社も許してくれるだろうが、正社員ではとても無理。同じ勤務時間でも正社員とバイトでは精神的な負担感が違う。だからといって、軽い負担で浮かしたエネルギーを何かに注ぎ込むというような対象はなかったのだけれど。たしかにボーナスは魅力だが、正社員となると年金や健保など控除される金額も多く、月々の給料の手取りはバイトでいるのとさほど変わらない。

まだまだ自分の適性を探りたい。いろんな業種を広く浅く経験して、いつの日か自分の天職の脈を掘り当てたい、という気持ちがまだ残っていた。もっとも、当時すでに24歳、今考えると、大人になるまでの時間稼ぎをしていただけなのだけれど。以上の5点に要約される。90年代の初め、パブルの余韻のなかで、フリーターという言葉が一般化したころの、その道を選んだ若者たちの思いとほとんど変わらないといえるだろう。そんなわけで、食堂長のせつかくの誘いには「ええ、まあ、そのうちに考えときます」と言葉を濁しながら、1976年は暮れていったのであった。

葉桜の下で

年が明けて2月の中旬、食堂長から「どうや、その気になったか？」と再度アプローチがあった。ぼくは「ええ、まあそのうちに...」と相変わらずの返事。すると食堂長は「この前、総務課長に訊いてんけどな、新入社員の採用基準で年齢は満24歳までという内規があるらしいで。お前24やろ。何月生まれや？」と言った。「6月生まれです」と言うと、あと「3ヶ月のうちに決めなあかん」とプレッシャーをかけられてしまった。それからしばらくたった3月初旬、春の気配などどこにも感じられない寒い日だった。東京駅夕刻発車のひかり号。車内はサラリーマンで超満員。ぼくは、ビュッフェで弁当やサンドイッチの調製、お客の応対と、忙しく立ち働いていた。名古屋の手前だった。「あっ、熱い」と思った瞬間、床が茶色く染まっていた。コーヒーを沸かし、床に置いていたドリッパーを引っ掛けて倒し、熱いコーヒーを左足にかけてしまったのだ。みるみるうちに、皮膚が赤く染まり、ブクッとふくれてきた。食堂長がとんできて、控え室で氷水を足に当てて冷やしてくれた。「すみません。こんな忙しい時にドジなことして」というぼくに「そんなこと気にすんな。新大阪に着くまで、これで我慢しとけよ」といって、忙しいさなか、また新しい氷を持ってきてくれた。

新大阪到着後、ただちに会社近くの病院で治療を受けた。その時間帯、すでに総務課には誰もいなくて、労災適用の判断を当直が迷っていた。仕事柄、年に何度かは労災事故があるのだが、アルバイトには適用の前例がないという。(本来アルバイトは車内販売だけで火傷やケガをする作業にはつかせなかった)。そんなわけで、ぼくは自宅に電話して父の健保の番号を訊くはめになった。火傷の熱さより「24歳になって、自前の健保がなく、親父の扶養家族とはちょっと情けないな。そろそろ正社員になる潮時かな」と思った瞬間だった。(もちろん、結果的には後日労災が適用されたのだけれど)。それでも1ヶ月位は決心がつかず、グズグズしていた。火傷は2週間程で治り、職場に復帰できたが、ちょうどその頃、高校を出たばかりの新入社員がどっと入ってきて、ぼくの班にも何人か配属されてきた。人員的にはダブルつき気味となった。4月も半ば近く、東京駅のホームを食堂長と肩を並べて歩いている時に「チーフ、まだ正

社員のアキありますか？」と訊いてみた。ぼくは「あの話、まだ生きてますか？」というぐらいの気持ちで訊いたのだけれど、食堂長はやっとその気になったかというように、ニヤリと笑って「よっしゃ、総務課長に話つけといたるわ」と言った。ぼくは今さら「いえ、ちょっと訊いてみただけです」とも言えず、はずみで「よろしく願います」と言ってしまった。

数日後、東京泊まりのコースを終え、お昼過ぎに業務終了。みんなは家路についたけれど、ぼくは総務課長と並んで入社の手続き。いろいろな説明を受け、何枚かの書類に署名捺印して 30 分ほどで終わった。「ハイ、これで、入社の手続きは完了です。もう少し早ければ、定期入社の人たちと一緒に入社式に出れたのになあ」と残念そうな総務課長。「いや、カンベンしてくださいよ。18 歳のなかに、ぼつんと一人 24 歳がまじっていたんじゃ格好つかないですから」と言って笑った。少し苦い笑いだった。

会社の外に出て、そのまま歩いて数分の、通称木川の三角公園と呼ばれる公園に入り、ベンチに腰掛けた。春の陽を浴びて、すっかり花びらを落とした桜の枝が地面の上に斑模様を描いていた。ようやく定職に就いたという安堵感と、何かを失ってしまったという喪失感。相反する二つの感情のなかにぼくはいた。足元に近づこうとするハトを桜の枯れ枝で追い払い、地面に枝で字を書いた。『春愁』と...ひらひらと桜の花びらが一枚舞い降りてきて、春の字の右肩にとまった。まだ花が残っていたのかと見上げると、もうどの枝にも花びらはなく、すっかり葉桜になっていた。いま年金手帳の最初のページを見ると、その日が 1977 年 4 月 16 日だということがわかる。満 24 歳と 10 ヶ月だった。 おわり

行政情報

セミナー・イベント情報(大阪市域) 平成 18 年度 No.3

= 2006.5.8 発行 大阪府総合労働事務所 =

第 1 回労働なんでもセミナー

日時 平成 18 年 5 月 26 日(金) 14 時から 17 時まで

○場所 大阪府立労働センター(エル・おおさか)南館 5 階ホール

○内容 (1)「労使トラブルケース・スタディー」 労働相談の現場から

講師 大阪府総合労働事務所 相談グループ 職員

(2)「雇うとき、雇われるときのルール」

雇用形態多様化時代の就業規則作成のポイント

講師 社会保険労務士 S 氏

○定員 100 名(申込先着順・参加費無料)

○お問合せ、お申込み先

(財)大阪労働協会 TEL 06-4790-8951 FAX 06-6942-1735

E-mail > ork@mic.e-osaka.ne.jp

○主催 大阪府・大阪府勤労福祉推進者懇談会(すいしんこん)

運営 財団法人大阪労働協会

誰も書かないメンタルヘルスの話

N

解雇された翌日、自宅の2階の書斎で。(心の中で)『クソ！ 解雇しやがって。職場にコレラ菌でも撒いてやろうか。それとも筋弛緩剤でも使って殺してやろうか』と悶々としていました。「ねえ、タッチ(私のこと)そんな殺人計画なんか考えていないで、ブラックジャックでも一緒に見ようよ」と幼な妻の声。

法治国家に住んでいる限り、被害者の直接の報復は許されません。実行すると報復の報復を招き果てしない悲劇の繰り返しになってしまいます。しかし私の「人権」は侵されました。『人権回復には、裁判だ！裁判だ！』ということで提訴に踏み切りました。

臨床心理士のK教授はある講座で「川崎市のマンションから男児を投げ落とした容疑者は『うつ』だった」と言っておりました。容疑者の行為は決して許されるものではありませんが、この容疑者も過去に「リストラ」と「長女の交通事故死」があったようです。

うつには激しい『怒り』があります。そこで、今回は再度『うつ』というものを見直して見ようと思います。

【「うつ」とは……】

「気分が沈みこんで何かをする気力がない、まわりのことに興味がもてない、人生が味気なく感じる……」こうなると、あなたはひょっとして「うつ」なのかもしれません。

実存分析のビスワンガーは、『うつ』を「先が見えてしまい、それから何をやっても無駄とか、無意味だとかという気分浸される為に起こる」と言っています。いわゆる真面目な会社型人間？は、会社人間としての終わりが自分の人生の終わりとしが考えられないようです。「解雇」「退職勧奨」「定年」が迫れば自らの人生の終わりという気分になってしまいます。会社型人間がこういう問題を前にして「うつ状態」に陥りやすいのも仕方がないものかもしれません。

ただ、あなたは、あくまで企業の論理でリストラされただけです。あなたの全人格が否定されたわけではありません。

【うつ状態の下位分類と診断】

うつ状態は、後述する「内因性うつ病」ばかりクローズアップされていますが、以下のような疾患からも生ずると報告されています。

1、身体に明らかな原因の認められるうつ状態

- 中枢神経疾患によるうつ状態…脳器質性うつ病(脳梗塞、脳腫瘍など)
- 身体疾患の影響によるうつ状態…症候性うつ病(膠原病、リウマチなど)
- 薬物や中毒性物質によるうつ状態…中毒性うつ病(覚醒剤など)

2、原因のはっきりしていないうつ状態

内因性うつ病・躁うつ病・統合失調症・非定型精神病

3、性格や環境に起因するうつ状態

神経症性抑うつ・反応性抑うつ

【内因性うつ病の診断～研修医でも可能です】

昔は、病院のカンファレンスで、研修医が「昨日入った患者さんは、うつ病と診断します」と言っても「君みたいな若僧が何を言ってるんだ！」と指導医に一蹴された光景を何度か見ました。しかし、今は「DSM- の診断基準からすると、うつです」と研修医が言えばそれが通る時代になりました。診断基準が出来てからは1年目の研修医でも診断が出来るようになりました。

[うつ病の発見の手がかり]

抑うつ気分(朝悪く、夕方から夜に軽快する事が多い)
興味、喜びの著しい減退
体重の減少あるいは増加、食欲の減退あるいは増加
不眠(早朝に覚醒しやすい)または睡眠過多
易疲労性、気力の減退
思考力や集中力の減退、決断困難
無価値感または過剰な罪責感
精神運動性の焦燥・制止
自殺念慮。

～ が5項目以上2週間以上続く場合は、一刻も早く精神科か心療内科を受診しましょう。

[ご夫婦で相談に来られる場合も多いです]

最近、ご夫婦で相談に来られることが多いのです、私がそれを薦めていることもあります。

そんな時、男性をよく観察してみると、「血の引いた顔色」「おぼつかない足取り」「魂の抜けたガランドウの様」は「可愛くないぬいぐるみ人形の様」です。こんな時に頼りになるのはやはり妻です。なんてたって妻の暖かい励まし、慰労が、夫に安心を与えます。

奥様のほうの話を聞いてみると、実際は、妻もそうした事態に遭遇したら、驚天動地で笑顔なんかみせるのも難しい状態です。

しかし、そこは奥さんの底力です「会社がつぶれたとて」「旦那が解雇されたとて(実は私のこと)」夫婦が健康であり、互いに協力する意思をさえあれば、難関を突破していく姿を私は何度も見えています。

「組合なんかに入るのは怖い」と怯える夫に対して、「あんた、ユニオンに入らないのなら離婚するわよ！」私「奥さん何もそこまで言わなくても……」

[うつ病治療最前線～自信を取り戻した医者！～打ちひしがれるカウンセラー]

第三世代の抗うつ薬 SSRI、第四世代の SNRI の登場以降、うつ病も適切な治療を行えば治る様になりました。精神科医は自殺念慮の患者さんをどれだけ救ったのでしょうか。

一方、精神分析で治療を行なっているカウンセラーは、「毎週1回で1年間もかかる治療なんてまどろっこしいよ」という患者の声に返す言葉も見つかりません。

[感謝してもし尽くせないユニオンの女神達]

深夜、一人で目覚めて、急にある種の不安に襲われたことはありませんか？(私のように)中年を過ぎてどうしようもない寂しさにとられることはありませんか？この先どうなるのか？自分の獲得したものは何だったのだろうか？...翌日、ユニオンの仲間そんな胸のうちの明かしてみました。そこで、ある事に気がつきました。

男性の組合員の反応は「Nさん、酒でも飲もうや」「あんたは、真面目やからフーズクでも行ったほうがいい」「相談でも気に入った人にはデレデレとして、嫌いな人にはそっぽ向かないと、また病気になっちゃうよ」「スポーツでもして疲れて寝てしまっは...」と気分転換をはかることを進められました。私を含めて気の弱い男性陣は「不安」とことん追いつめることはしません。

ところが、女性達の反応は違うのです。「あるある、Nさんみたいな感情」「自殺とかしかねない自分の性格を恐れているの...」「自分の中にもう一人の自分がいて本来の

ものとは関係なく走り出しちゃうようなときがあるの...」「男性のように恋いも仕事も適当にということが難しいの...」「一度走り出したら親も兄弟も仕事も何もかも捨てて死んじゃうかもしれない...」「自分の中に何かをやらかす魔物のようなものがあってそれが動き出すと怖いよ...」「女って性質はね、ひとたび自分をいじめ始めると、とことんいじめ抜いちゃうのよ...」「そうそう、ひたすらストイックに追求しちゃうのよ」「アタシなんか追いつめて、追いつめて、寂しさや、空しさが募り自分のつまらなさから、こんな自分は生きるに値しない...と思っちゃう」のだそうです。

男性は、途中で「もう、こんな怖いことを考えるのやめた」と引き返し、適当なところで妥協して、ずるずると日常生活に戻っていきます。

一方、女性達は、心の問題をそらさず直線的に追い求めて、最後に自らを制すところがあるように思えてなりません。

【うつは必ず治ります～データによると女性のほうが早くうつを経験する?】

「うつ」になっても、治療して完治する知恵さえあれば、「うつ」さえも人生の宝物になります。そして時が経てば苦しんだ経験も人生のいりどりとなり、その人特有の個性になるはずです。

一生涯に一度は「うつ」になるのだったら免疫ではありませんが、早い目に経験して明るく前向きにとらえていきたいものです。

NPO《申請中》法人働く者のメンタルヘルス相談室を設立しました。

伊福 達彦

長時間、超過密労働が職場の余裕を無くし過労とストレスから心を病む労働者が増えていきます。また適切な相談の場が見つからず、多くの方が悩んでいます。労働組合に相談に来られる方は、長く病み、労使関係も悪化しているケースがほとんどです。鬱の早い段階でサポートし、休職した場合も再就労までサポートする仕組みが不可欠です。相談に費やす時間さえなかなかとれない状況を見ると、職場に近い場での相談活動がベストです。

過労や過密労働ストレスなどで、ひとたび心の病を発症すれば、現状では職場復帰はとても困難です。N T T 東関東病院の職場復帰プログラムに参加したグループでは60人中20人が復帰出来たそうです。比較的軽症者を扱うMDA - JAPANでは8,9割が復帰としています。労働組合の相談では鬱悪化による解雇が目立ちます。いずれにせよ放置できない現実があります。心の病に対処するためには、専門家の力をお借りして、相談員も、カウンセラーも専門的な訓練を受ける必要があります。専門性を確保するにはどうすればいいのかという議論から、2005年6月頃より管理職ユニオン・関西の内部で働くもののメンタルヘルス相談室をNPO法人の形で設立する必要があるという意見が出されました。その後調査や論議をふまえて昨年11月の大会で正式に設立を決め予算措置を行いました。又大会で産業カウンセラー養成講座に2名の組合員の**派遣も決めました。大会後NPO設立責任者に伊福を選任し活動を開始しました。まずNPOの専門家、職場の長時間過密労働やストレスの専門家、臨床心理の専門家に相談しNPOの方向を定めてゆきました。平行して認知療法、交流分析、呼吸療法、音楽療法などメールや面談、DVD購入で調査、研究を行いました。こうした活動の中で大学教授、弁護士、精神科医の協力や、日本産業カウンセラー協会からボランティア・カウンセラーの派遣が確保され、4月1日に設立総会を開催しました。理事長は機動性を重視して、管理職ユニオンから伊福が就任し、副理事長にはM教授が就任しました。4月19日大阪府に設立申請しました。

現在相談員養成講座を開催しています。又6月より産業カウンセラーが常駐して電話、

メールでの相談も受けることになりました。組合員の方ももちろん、どの組合に所属して
いようが、また一人であっても地域を問わず相談を受けたいと思っています。家族、知人、
支援者の相談も歓迎です。

相談専用電話 06 - 6442 - 8596 FAX06-6881-0782
メールは当面 sodan@mu-kansai.or.jp
面接相談は大阪市北区東天満2 - 2 - 5第2新興ビル605です。

相談員育成をかねた講座は第二回目が5月21日午前10時より大阪第2ビル5回第2研修室で
大学助教授 Iさんの「こころ」立ち止まって深く見るです。

心の病は自分で治す・セルフケアを支援する講座を開催

5月21日(日)「こころ」立ち止まって深くみる
大阪第2ビル5階第2研修室

講師：I大学助教授 時間は午前10時より12時まで

プロフィール：K学で宗教哲学などを学んだ後、日本の曾洞宗、ビルマのテーラワダ佛教に
て出家、93年よりカナダなどの佛教コミュニティや瞑想センターで経典研究や瞑想指導にあたる。
97年還俗、98年M大学医学部の特待生としてストレスリダクションの研修を受け帰国。K大
学のスピリチュアル学科新設に伴い助教授就任。著書は岩波アクティブ新書「呼吸を感じるエク
ササイズ」など講義と実技を1時間ずつ行います。座禅、ヨーガを基にした入りやすく奥の深い
ウイマラ流呼吸術を学んでください。呼んでほしい名前で交互に呼び合うエクササイズでは「三
好達治」の「我が名を呼びて賜れ」という美しい詩を思い浮かべてしまいます。

6月17日 「働き過ぎの時代」の病理
エル大阪南館7階72号 時間は午後1時から
講師：M大学教授

至る所から働き過ぎの悲鳴が上がっている。労働時間が1日10時間を超
えるほど長ければ、疲労とストレスがたまり心のバランスを失うばかり
か、最悪の場合は死に至ることになる。岩波新書「働き過ぎの時代」の著
者を迎えて働き過ぎの時代の病理を考える。

6月25日(日)カウンセリングの基礎 産業カウンセラー E
7月2日(日) モーツァルト音楽療法 大学教授
いずれもエル大阪南館7階72号午後1時から

フランスのトマティス博士が解明した脳と耳と音の関係。3500ヘルツ以上の高周波の持つ脳
への良い影響。免疫音楽医療学の第一人者W教授が音楽療法士の方とともに優しく講義と実技を
披露します。

7月15日(土)職場のストレスと安全 M 大学教授
7月22日(土)労働基準法解説 大濱和明社会保険労務士
いずれもエル大阪南館7階72号 午後1時から

講座修了後相談員希望者にカウンセリング実技の集中講座があります。

団結 ソフトボール大会

関西ユニオン交流会でソフトボール大会を開催します。
みなさん、ふるってご参加ください。

時 : 2006年6月11日(日) 13:00~17:00

12:45には、集合しましょう。

場所 : 万博公園スポーツ広場(南駐車場)

参加費 : 無料

試合終了後、懇親会を行います。

管理職ユニオン・関西とアルバイト派遣パート・関西、各1チーム
で参加予定です。多くの方の参加希望します。

参加者は、事前にユニオン宛、連絡下さい。

6月3日(土) 中之島剣崎公園で AM 10:30からかるくキャッチボール
を行います。希望者は、ユニオン事務所 AM 10:00